

問1 西アジアのある国について、1970年から2015年にかけての統計を確認すると、1人あたりの国内総生産が上昇傾向にあり、乳幼児死亡率は約10%から約1%へと急激に低下しています。現在も人口増加が続く中で最新技術を用いた高度な医療の提供が進んでいるこの国はどこですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. サウジアラビア      2. ナイジェリア      3. ベネズエラ      4. エジプト

問2 インドの自然環境と人々の生活について述べた文として、地理的な背景から見て最も適切な説明を選びなさい。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 北部のヒンドゥスタン平原は、ガンジス川の運ぶ土砂によって形成された肥沃な地域であり、人口が密集している。  
2. インドの西側を流れるガンジス川は、乾燥した砂漠地帯を潤しながらアラビア海へと注いでいる。  
3. デカン高原の北側を流れるインダス川は、ヒンドゥスタン平原の中央を貫き、東側のベンガル湾へと流れる。  
4. インド北東部を流れるブラマプトラ川は、ヒンドゥスタン平原を形成する主要な河川であり、南側のインド洋へ直接注ぐ。

問3 日本の製造業がインドに進出する際、特に顕著な動きが見られる産業分野と、その進出の実態について説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. 日本の自動車産業などの外国企業が、インド国内に生産拠点を展開し、現地での販売や輸出を拡大している。  
2. 日本の農業法人が、インドの広大な土地を利用して、主食である小麦の栽培と日本への全量輸出を行っている。  
3. インド政府による外国企業の参入禁止措置により、日本企業は現地に工場を建てるのが一切できない状況にある。  
4. インドの伝統的な綿織物工業を保護するため、日本の繊維メーカーは進出せず、技術提供のみを行っている。

問4 南アジアに位置するインドにおいて、人々の生活や文化と密接に結びついている宗教と、その聖地とされる河川の組み合わせとして正しいものはどれか。なお、この河川の流域では、信者が川の水で身を清める「沐浴（もくよく）」という儀式が日常的に行われている。（2023年 鳥根公立入試 類似）

1. ヒンドゥー教とガンジス川      2. イスラム教とインダス川      3. 仏教とメコン川      4. ヒンドゥー教とブラマプトラ川

問5 東南アジアに位置し、気候帯が熱帯に属するある国について、統計資料において「人口密度が1平方キロメートルあたり約102人」「森林面積の割合が約58.2%」「耕地面積の割合が約25.2%」という数値が示されている場合、該当する国として最も適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. マレーシア      2. ロシア      3. サウジアラビア      4. クウェート

問6 ある国の経済指標を確認したところ、一人当たりの国民総所得が約1,600ドルと比較的低く、産業別人口構成において第1次産業従事者の割合が60%を超えていることが分かった。このデータが示す国として最も適切なものを選べ。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. モンゴル      2. タイ      3. イギリス      4. アメリカ

問7 東南アジアの諸地域における宗教と歴史について述べた次の説明のうち、フィリピンの状況を正しく説明しているものはどれですか。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 16世紀からスペインの植民地支配を受けたことにより、現在も国民の多くがキリスト教（カトリック）を信仰している。  
2. 16世紀にムスリム（イスラム教徒）商人の影響を強く受けたため、東南アジア最大のイスラム教国となった。  
3. 古くからインドとの交易が盛んであったことから、ヒンドゥー教の文化が社会の基盤となっている。  
4. 16世紀にアメリカ合衆国の植民地となり、貿易拠点として発展するとともにプロテスタントが普及した。

問8 1980年代から急速な経済成長を遂げ、自動車生産台数を飛躍的に増加させて日本の生産規模に次ぐ水準まで成長した東アジアの国を選んでください。（2021年 三重公立入試 類似）

1. 韓国      2. モンゴル      3. フィリピン      4. バングラデシュ

問9 2014年時点の統計において、携帯電話の契約数が約45億件という突出した数値を示し、ヨーロッパ、北アメリカ、およびその他の地域の合計を上回る規模に達している地域として、正しいものを選択してください。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. アジア      2. ヨーロッパ      3. 北アメリカ      4. アフリカ

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>サウジアラビア</b>	西アジアに位置し、石油資源を背景に高い経済水準と充実した社会福祉を実現しているのはサウジアラビアです。ナイジェリアやベネズエラもOPECに加盟する産油国ですが、西アジアではなくそれぞれアフリカ、南アメリカに位置します。サウジアラビアは豊富な資金力を活用して公的医療の無償化を進め、乳幼児死亡率の大幅な改善に成功した代表的な例です。
問2	<b>答え 1</b> <b>北部のヒンドウスタン平原は、ガンジス川の運ぶ土砂によって形成された肥沃な地域であり、人口が密集している。</b>	ガンジス川はインド北部に広大なヒンドウスタン平原を作り出し、農業に適した肥沃な土地を提供しています。この地域は古くから文明が栄え、現在も非常に人口密度が高い地域となっています。他の選択肢については、ガンジス川は西側ではなく東側のベンガル湾に注ぐ点、インダス川は主にパキスタンを流れる点などが誤りです。
問3	<b>答え 1</b> <b>日本の自動車産業などの外国企業が、インド国内に生産拠点を展開し、現地での販売や輸出を拡大している。</b>	インドの経済成長に伴い、日本の自動車メーカーなどはインド国内を重要な市場および生産拠点と捉えています。現地に工場を建設することで、輸送コストを抑えながら巨大なインド市場に製品を供給できるほか、インドを起点としてアフリカや中東などへ輸出する拠点としても活用されています。これは、インドが第一次産業中心の社会から、工業化を重視する社会へと変化していることを象徴しています。
問4	<b>答え 1</b> <b>ヒンドゥー教とガンジス川</b>	インドでは全人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、その聖典や伝説に深く関わるガンジス川は、罪を洗い流す神聖な川として崇められている。信者たちは流域にあるバラナシなどの都市に集まり、日常的に沐浴を行って祈りを捧げる。インダス川も歴史的に重要だが、現在のインドにおける最大の聖地はガンジス川である。
問5	<b>答え 1</b> <b>マレーシア</b>	マレーシアは赤道に近い熱帯に位置しており、高温多雨な気候の影響で広大な熱帯雨林が形成されています。そのため、国土の約6割という高い森林面積の割合が特徴です。一方で、乾燥帯に位置し森林がほとんどないサウジアラビアやクウェート、冷帯（亜寒帯）に属し人口密度が極めて低いロシアとは、これらの統計数値によって明確に区別することができます。
問6	<b>答え 1</b> <b>モンゴル</b>	第1次産業従事者の割合が60%を超えているという数値は、遊牧による畜産業が主要な産業であるモンゴルの典型的な特徴を示している。タイは近年工業化が進んでおり（「アジアのデトロイト」などと呼ばれる）、第1次産業の割合はモンゴルほど高くはない。また、イギリスやアメリカのような先進国では、第3次産業に従事する人の割合が圧倒的に高く、第1次産業の割合は極めて低い。
問7	<b>答え 1</b> <b>16世紀からスペインの植民地支配を受けたことにより、現在も国民の多くがキリスト教（カトリック）を信仰している。</b>	東南アジアの島嶼部では、インドネシアのようにイスラム教が主流の国が多い中で、フィリピンは歴史的にスペインの影響を強く受けたため、例外的にキリスト教徒が多数を占めています。フィリピンという国名も、当時のスペイン皇太子フェリペにちなんで名付けられました。選択肢にあるイスラム教が主流の国はインドネシア、ヒンドゥー教の影響が残るのはバリ島（インドネシア）などの事例があります。
問8	<b>答え 1</b> <b>韓国</b>	韓国は1980年代に「新興工業経済地域（NIES）」の一角として注目され、輸出志向型の工業化を推し進めました。この時期に自動車産業などの重化学工業が大きく発展し、生産台数が急増しました。日本が1980年代から約1000万台という極めて高い水準を維持しているのに対し、韓国は経済発展とともにその差を縮め、世界有数の自動車生産国としての地位を築きました。
問9	<b>答え 1</b> <b>アジア</b>	アジア地域は世界最大の人口を抱えており、経済発展とともに通信インフラの整備が急速に進みました。2014年のデータでは、アジアの携帯電話契約数は他の主要地域をすべて合わせた数よりも多くなっており、世界最大の市場となっています。